

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

共通の善に向かって卓越性を追求する 野中 郁次郎 (一橋大学名誉教授)

1. これからの時代、強烈なカリスマというよりも、経営者が現場に入り込んで重点的に対話の場をつくり、自身のコンセプトを話し、皆で共感し合う。そしてそれを浸透させていくリーダーが理想的だと考えます。P. F. ドラッカーも最後には本当のリーダーとはカリスマではなくオネスティ (正直さ) やインテグリティ (誠実さ)、あるいはチームづくりを通して人を活動的にできる人だという結果に達しています。
2. リーダーは様々な状況の中で理想主義とリアリズムを実現していく判断力、バイタリティが求められます。ダイナミックなバランス能力とでもいうのでしょうか。それは、カリマスではできないと思います。リーダーとは自分の持つ権力を分配できる人でなくてはならないということです。個人の知と組織の知恵に高める能力です。それはカリマスと呼ばれる人にできません。
3. 私はこれからの時代、企業が自らの存在意義がどこにあるかという「絶対価値」を追求する姿勢がとても重要になってくると考えています。
4. 会社経営において「何がグッドか」を追求するには絶対の解はありません。日々の仕事で直面するそれぞれの状況をジャッジしていくことに終点はないわけですが、その中で「コモングッド」、共通の善に向かって卓越性というものを無限に追求していく姿勢、そのプロセスこそがよいことではないかと思えます。
(参考:「致知」2009年1月号)

ワンポイント経営アドバイス

最初から全員一致ではダメ

(P. F. ドラッカー)

1. 一流の意思決定者は、きわめてシンプルなルールをもっている。重要なことで最初から全員の同意を得られる場合には、あえて決定はしないというルールである。全員が考える時間をもてるよう、決定を先延ばしにする。ドラッカーは、独裁や官僚支配のない社会を探し、自由と自治を基本とする産業社会がその答えたりうると考えた。
2. 企業が抱える問題はすべて現実の世界のものである。当然複雑である。あたかも命あるもののようなものである。単純に答えの出せる問題などありはしない。簡単に答えが出るときは、なにも考えていないか、理屈に縛られているか、あるいは欲にかられているときである。10人の役員がいれば10人の視点があるはずである。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2008年11月29日号)

心・健康・環境について

血圧を抑えるリンゴ療法

1. 1929年、ドイツの医学雑誌に「リンゴ療法」の効果が発表された。急性消化不良や赤痢など、1歳から5歳までの52人の子供に下らしたリンゴを2日間にわたって与えたところ、下痢はすぐ止まり、熱が下がったという。千葉医科大学の詫摩武人病院長は1941(昭和16)年の日本小児科学会総会でリンゴ療法の効果は、リンゴに多いペクチンによって腸内にビフィズス菌が多数出現するためではないか、と述べた。
2. かつて日本は世界で名だたる脳卒中王国だった。とりわけ多いのは東北地方。原因として高血圧が指摘された。東北地方では塩分の取り過ぎが血圧を上げ、脳卒中を多発させていたのだ。ところが、青森・弘前地方のリンゴ産地では血圧が低く、脳卒中も少なかった。リンゴにカリウムが多く含まれることが高血圧を防いでいるのだ。

(参考:「日経ビジネス」2008年11月17日号)

古典に学ぶ

わが人生の見通し

「今かりに人生を山登りにたとえますと、40歳はちょうど山の頂のようなもので、山の頂に立って見ますと、わが来し方も、初めてしみじみと振り返って見ることができると共に、また後半生をいかに生きたらよいかということも、ほのかながら見え始めて来るようであります。」 参考:森住三「修身教隠録抄」:致知出版社